

連絡先: 広報担当  
渋谷 邦子  
(03) 5424-5019

For Immediate Release



## モルガン・スタンレーの不動産ファンド、赤坂ガーデンシティの権利を部分取得

[2006年9月13日、東京] — モルガン・スタンレー・グループが運営する不動産ファンドは本日、2006年7月24日に締結した売買契約に基づき、同ファンドが出資する特別目的会社を通じて、積水ハウス株式会社が大部分を所有する赤坂ガーデンシティ(東京都港区赤坂4丁目)の積水ハウス保有分のうちの66.1%の権利を同社より約600億円で取得したことを発表した。

赤坂ガーデンシティは、赤坂西部に位置する地下2階、地上19階建ての大型優良オフィス・ビルである。国道246号線沿いの青山に隣接する地域に建っている同ビルには、2006年2月のオープン以来、積水ハウスをはじめとする12のテナントが入居している。

モルガン・スタンレー不動産ファンドは、紀尾井町ビル、品川三菱ビルなど、大型優良不動産を積極的に取得している。モルガン・スタンレー不動産部門の日本における責任者を務めるフレッド・シュミットは、「今回の取得は、不動産市況の回復が顕在化する中で、ファンドによる日本での不動産投資のさらなる拡大を目指す戦略の一環である。今後も、積水ハウスとの協力のもと、同物件の価値向上を図り、投資家への収益還元の最大化を目指す」と述べている。

モルガン・スタンレーの不動産部門は、主に投資、投資銀行業務、融資の3つの事業を世界中で展開している。1991年以降は、運営する不動産ファンドを通じて全世界で877億ドルを超える不動産を取得、現在も計509億ドルの顧客の不動産資産を運用している。投資銀行業務では、M&Aや事業再生のアドバイザー、資本増強、公募、私募による株式および債券資金調達など、幅広い投資銀行サービスを提供している。モルガン・スタンレー不動産ファンドは、日本においては1997年から投資を開始しており、不動産関連資産(オフィス・住居・商業・ホテル施設)や、各種企業再生案件などを中心に活発な投資活動を行っている。

モルガン・スタンレーはグローバルな総合金融サービス企業であり、証券、資産運用、クレジット・サービス業務において、市場のリーダー的存在である。現在、世界30カ国に600を超えるオフィスを擁する同グループは、人、アイデア、資本をつなぐグローバル・ネットワークを最大限に生かし、世界中の顧客に質の高い金融商品およびサービスを提供している。

###